令和４年度 総額純計
当初予算 276億2,502万円

対前年比5.1％増 （前年度当初予算総額純計262億9,211万円）

市の会計は、一般会計・特別会計・公営企業会計の３つの会計に分かれています。

各会計重複額 20億4,474万円

一般会計	特別会計	公営企業会計
195億9,800万円	76億7,508万円	23億9,668万円

公営企業会計

民間企業と同じように、事業収益で運営している会計です。

水道事業
3億7,311万円（対前年度比 +4.6％）

簡易水道事業(※)
8億0,176万円

下水道事業(※)
12億2,181万円

特別会計

国保税など特定の収入があり、一般会計と分けて経理することで、収支を明確にした会計です。

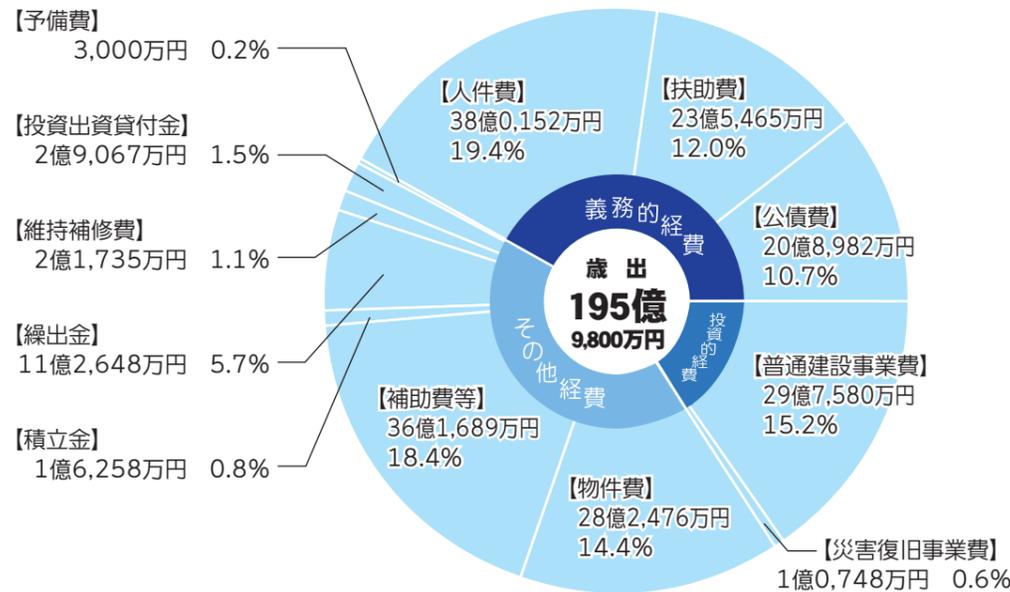
会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	35億0,172万円	−11.6％
後期高齢者医療特別会計	5億4,982万円	＋2.2％
介護保険特別会計（保険事業勘定）	36億0,919万円	＋2.9％
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	1,434万円	＋13.1％
簡易水道事業特別会計	—	
公共下水道事業特別会計	—	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	

※令和４年度から、簡易水道事業と下水道３事業が地方公営企業法の適用により、公営企業会計での計上となっています。

一般会計 目的別歳出

目的	金額
議会費	1億4,773万円
民生費	68億8,491万円
農林水産業費	8億5,703万円
土木費	8億7,413万円
教育費	26億4,225万円
公債費	20億8,982万円
総務費	23億9,289万円
衛生費	20億8,750万円
商工費	3億2,365万円
消防費	9億6,013万円
災害復旧費	1億4,272万円
その他	1億9,524万円

一般会計

福祉・教育・道路整備など、基礎的な行政サービスを行う会計です。一般会計の歳入・歳出予算総額は195億9800万円で、対前年度比5.8％の増となっています。

歳出

補助費等の増加および繰出金の減額は、公営企業会計となった簡易水道事業や下水道事業への歳出予算の性質の変更によるものです。出資金の増加も、これら公営企業会計となった両事業への出資金が増加となっています。

また、災害復旧事業費は昨年度比36・4％の減となっています。

- ▼**人件費**…議員報酬や職員の給与等
- ▼**扶助費**…生活保護費・児童手当等
- ▼**公債費**…借金の返済金
- ▼**普通建設事業費**…新たな道路整備や施設建設に関する事業費
- ▼**物件費**…消耗品・光熱水費・通信費等
- ▼**補助費等**…一部事務組合等への負担金や補助金
- ▼**積立金**…市の預貯金
- ▼**繰出金**…他の会計（特別会計）へ支出されるお金
- ▼**維持補修費**…市の施設等の管理や補修に要するお金

歳入

市税は前年度比で１億１５６６万円、4.5％の増を見込んでいます。市債は前年度比で９３４３万円、4.3％の増となっています。

生じた財源不足を補うために、税制調整基金13億６２９１万円を取り崩します。

- ▼**繰入金**…積立金の取り崩し等
- ▼**分担金・負担金**…保育園費など
- ▼**諸収入**…貸付返済金、預金利子等
- ▼**使用料・手数料**…市営住宅の家賃、住民票発行手数料等
- ▼**地方譲与税**…国税として徴収され、市に入ってくるお金
- ▼**地方交付税**…財源の不足分に応じた国からの交付金
- ▼**国庫支出金**…国からの負担金・補助金
- ▼**県支出金**…県からの負担金・補助金
- ▼**市債**…市の借金